



学校だより

のびるかみっ子～“元気”があれば何でもできる!!～

上小岩



令和8年 1月 30日
NO.11
江戸川区立上小岩小学校
校長 宮本 知司

冬來たりなば 春遠からじ

副校長 富田 伸雄

2026年が始まり、早1か月が経ちました。今年は午年。“飛躍の年”と願いながら新年の挨拶をされたのではないかと思います。スポーツの世界に目を広げると、今年も大きなスポーツの大会が開催され、各選手たちの飛躍が期待されています。

2月には、イタリアのミラノ、コルティナ・ダンペツォで冬季オリンピックの開催。3月には WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)が、6月には FIFA ワールドカップが開催されます。それぞれのスポーツ・競技について知ることや、応援すること、そして、私たち自身もスポーツ・運動を通して、心身ともに健康な体作りをしていきたいものです。

昨年は日本で「世界陸上」が開催され、大いに盛り上がりました。学校にも世界陸上財団からバトンが寄贈され、体育のリレーでも使ってています。私自身も、国立競技場に家族で観戦に行く機会がありました。会場は熱気に包まれ、遠くからではありました。選手一人一人の真剣な姿・躍動感を感じ取ることができました。私が観戦した日は、「男子4×100mリレー」の予選があり、日本の選手が決勝進出を決めた時でした。揺れるような大歓声の中、熱い思いになったことを覚えています。

明日から2月、まだまだ寒い日が続きますが、学校の中では子供たちが日々、学習・運動に励んでいます。2月14日(土)は、今年度最後の学校公開を予定しております。ぜひ、保護者・地域の皆様にかみっ子たちの頑張る姿をご覧いただければと思います。



寒さに負けず、校庭では元気よく高学年の子供たちがリレーです！

『太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ』

これは、国語の教科書にも掲載されている、「雪」という三好達治の詩です。わずか2行の詩ですが、言葉からイメージは膨らみます。二人が寝ている間に、雪はしんしんと降り積もっている。外はすべての活動が止まり、静けさに包まれている。そんな雪国の情景を思い浮かべます。

1月は、日本海側を中心に大雪の警戒情報が出され、一部区間では交通規制がかかりました。北陸地方の方々の生活にも影響が出ているという報道もありました。本校では、1月に5年生のウインタースクールを予定しておりましたが、この大雪を懸念して実施日を延期するという判断をしました。安全に、また行程通りに進められるよう、さらに準備を重ねていきます。

「冬來たりなば 春遠からじ」という言葉があります。厳しい冬がやってきても、季節は変わり、暖かい春が来る。大変なことがあったとしても、その先には明るい未来が訪れるといった、希望が込められている言葉もあります。様々なことがあります、気持ちはどこまでも明るく、前を向いていきたいものです。

かみっ子たちが、日々元気に！明るく学校生活が送れるよう、今日も元気に子供たちに声をかけていきます！



図書ボランティアさんによる読み聞かせ。
いつもありがとうございます！